

2019  
JANUARY **18**  
09:30-16:30

Hotel Okura Kobe  
ホテルオークラ神戸

〒650-8560  
兵庫県神戸市中央区波止場町2-1



# International Recovery Forum 2019

国際復興フォーラム2019

**Attaining the Build Back Better Dividend**

「Build Back Better」の効果をお届ける



Photo Credit: EU Civil Protection and Humanitarian Aid Operations



**ORGANIZERS:**

国際復興支援プラットフォーム (IRP)、内閣府、兵庫県、アジア防災センター (ADRC)、  
国連国際防災戦略事務局 (UNISDR)



**SUPPORTED BY:**

外務省  
NHK神戸放送局



ジョセフ・ライトマン  
世界銀行 防災グローバル  
ファシリテーター  
首席防災専門官



林 春男  
防災科学技術研究所  
理事長



ジョー・ショウヤー  
国連開発計画 (UNDP)  
気候変動・災害リスク削減部  
部長



小池 俊雄  
土木研究所 水災害・リスク  
マネジメント国際センター  
センター長



ウルズィーサイハン・  
エンフトゥブシン  
モンゴル国  
副首相 (予定)



スプラヨガ・ハディ  
インドネシア 国家開発企画庁  
部長



立木 茂雄  
同志社大学  
教授



佐谷 説子  
内閣府  
政策統括官付参事官



## BACKGROUND:

復旧・再建・復興における「Build Back Better (より良い復興)」への取り組みは、将来の損失を減らす、基準、防災活動、防災技術を改善する、経済活動を活性化するなど、開発のさまざまな側面に貢献する多くの利点・効果があります。しかしながら、政策決定者にとって、どのようにこれらの効果を実現できるのか、誰一人としてとり残さないためには、どのようにして誰もが効果を共有できるよう確保するのかという課題があります。

そこで国際復興フォーラム 2019 では、基調講演と2つのパネルディスカッションを行い、これらの課題に関して、行政、民間セクター、市民団体、コミュニティによる知識や経験を共有し、議論します。パネルディスカッション1では、「Build Back Better の効果を届けるための戦略」をテーマに、どのようにより良い復興を達成し、これらの効果を最大限にもたらすことができるかについて議論します。パネルディスカッション2では、「包摂的な復興の実現」をテーマに議論します。特に脆弱な立場にある人々による参画、アクセス、また彼らへの支援を改善し、より良い復興がもたらす効果が全ての人に行き渡るための方法を議論します。



## AGENDA:

9:30-10:00	登録
<b>開会</b>	
10:00-10:20	<b>ジョセフ・ライトマン</b> IRP運営委員会議長(世界銀行) <b>大臣又は審議官</b> 内閣府(予定) <b>井戸 敏三</b> 兵庫県 知事
<b>特別講演 1 及び世界の災害状況報告</b>	
10:20-11:10	<b>林 春男</b> 防災科学技術研究所 <b>ジョー・ショウヤー</b> 国連開発計画 (UNDP)
<b>パネルディスカッション 1 : 「Build Back Better」の効果を届けるための戦略</b>	
11:10-12:30	<b>小池 俊雄</b> 土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター <b>民間セクター 専門家(予定)</b> <b>ベンカターチャラム・テイルプジャーシュ</b> インド政府国家防災委員会(予定) <b>ベヌ・バスデバン</b> リビルド・ケララ・イニシアティブ(インド) <b>アグスティン・カサノバ・セデニョ</b> エクアドル ポルトビエホ 市長(予定)

<b>特別講演 2</b>	
13:45-14:40	<b>アメリカ合衆国連邦緊急事態管理庁(予定)</b> <b>ジョセフ・ライトマン</b> 世界銀行 <b>ウルズイーサイハン・エンフトゥブシン</b> モンゴル国 副首相(予定)
<b>パネルディスカッション 2 : 包摂的な復興の実現</b>	
14:50-16:25	<b>アルゴ・シンハ・ロイ</b> アジア開発銀行 (ADB) <b>サンドラ・シーレン</b> ファイロー・コミッション <b>スブラヨガ・ハディ</b> インドネシア政府 <b>立木 茂雄</b> 同志社大学 <b>藤原 久美子</b> 神戸Beすけっと
16:25-16:30	<b>閉会:</b> <b>佐谷 説子</b> IRP運営委員会共同議長(内閣府)

### 使用言語

日本語・英語(日英同時通訳有り)



## 「国際復興フォーラム2019」申込情報/入力フォーム (申込用Eメールアドレス: irf2019@recoveryplatform.org)

所属 (組織名、学校名)	
役職	
フリガナ お名前	
住所・電話番号	〒  Tel.
Eメール	

\* Eメールに上記申込情報を入力の上、「国際復興フォーラム2019参加希望」と題して申込用アドレス宛に送信下さい。  
 また、IRPホームページからPDFのチラシをダウンロードして、申込情報を直接PDFファイルへ入力・保存の上、Eメール添付にて申し込むことも可能です。  
 (IRP日本語ホームページ: [www.recoveryplatform.org/jp/](http://www.recoveryplatform.org/jp/))  
 \* 個人情報は、当フォーラム以外には使用いたしません。